



にかほ市×アメリカ合衆国オクラホマ州ショウニー市

姉妹都市交流が導いたご縁

The knot tied by sister city relationship

コロナ禍により姉妹都市交流事業が中止となっているなか、ハッピーなニュースが届きました。平成2年、旧仁賀保町が姉妹都市を締結したショウニー市との交流により太平洋を越えた双方の中学生は715人。このたび、平成16年・17年のそれぞれ訪問団員だった原美帆子さん（両前寺）とスウィニー・エイドリアンさん（ショウニー市）が結婚。当事業がご縁で結婚に至った経緯やこれからの当事業についてお聞きしました。



■ **現在のお2人は？**
工 東京都内に住んでいて、私は外資系企業人材紹介会社に勤務、妻の美帆子さんは日本企業に務め秘書をしています。
■ お2人の会話は？
工 90%が日本語ですが、疲れると英語になります。
■ なれそめは？
工 4年前、私からインスタグラムで連絡をとって渋谷で会いました。
■ にかほ市の感想
工 山や海の景色が綺麗で、建物などの雰囲気も違って特別などころに感じたほか、人も優しくおもてなしがすごいと思いました。
■ 自分にとっての姉妹都市交流とは？
美 さまざまな文化や人と触れ合うことは、自分の人生をカラフルなものにしてくれました。子どもが生まれたら、この交流事業に参加してほしいと思います。



■ **姉妹都市交流に望むことは？**
工 異文化や生活習慣を直接肌で感じ取れる体験は、感受性豊かな中学生にとつて貴重で特別なことだと思っています。これからも交流できることを望みます。
美 学生時代の異文化交流は素敵なチャンスです。日本とは全く異なる生活や文化、街並みや人々に関わることで、自身の視野をとても広げることが出来ます。今はコロナ禍で事業を実施できませんが、ぜひ再開してほしいと思います。



鳥海山・飛島ジオパーククリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～

vol.96

『檜山滝の秘密』



秋田大学 教授

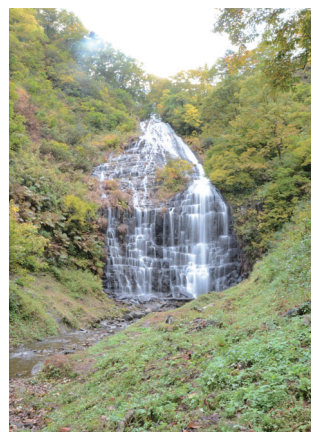
はやし たけし
林 武司氏

檜山滝は、鳥海山の北東（由利本荘市鳥海町下直根）に位置し、柱状節理が階段状になっている急崖を流れ下る落差50mほどの滝です。檜山滝の水は沢内沢川となり、直根川を介して子吉川に流入します。

檜山滝を抱く丘陵は、鳥海山の基盤をなす出羽山地・丁岳山地に属し、周囲を直根川や子吉川に囲まれた狭小な地形を有しています。しかし、この丘陵の頂部には大きな凹地状の地形があり、この凹地が雨や雪解け水を広く集めて檜山滝に水をもたらしています。この特徴的な凹地や檜山滝の形成と、檜山滝に見られる柱状節理には、関係がありそうです。柱状節理のある岩体は、マグマが地下で冷え固まって形成された貫入岩と呼ばれるものであり、

この岩体の西側にも、岩質の異なる貫入岩体があります。これらの貫入岩体の存在が、頂部の凹地や檜山滝の岸壁の形成に関与した可能性が考えられます。

ところで、かつて地元の人々は檜山滝の脇の急崖を往来して、凹地へと通っていたそうです。現地で檜山滝を見上げると、人々の暮らしのたくましさを実感できることでしょう。また檜山滝を見上げながら、あるいは地図を眺めながら、檜山滝の上流に隠されている自然の不思議さに思いを馳せてみるのも楽しいことでしょう。



▲檜山滝（由利本荘エリア）

お口の健康を考える



問 健康推進課 ☎ 32-3000



「訪問歯科診療について」

蔵小路歯科クリニック
佐々木圭介 先生

訪問歯科診療とは

訪問歯科診療とは、患者さんの自宅や入居している施設に直接伺って歯科治療を行うことです。あまり知られていないかもしれませんが、医科での往診の様なものです。ただし、誰でもその対象になるのではなく、自身で歯科医院に通院できない方が対象になります。

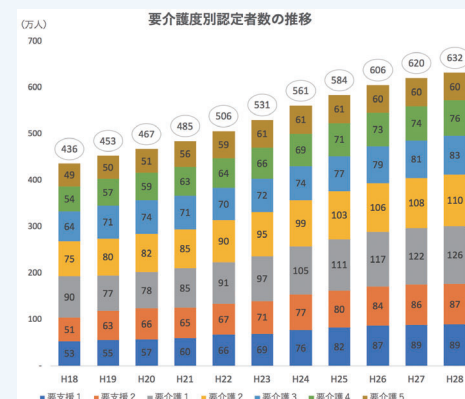
具体的には、病気で寝たきり、車椅子生活をされている方、もしくはそこまではないが外を歩くことが殆どできない方、支えてもらわないと歩けない方、認知症の方などです。障がいのある方も対象になる場合がありますが、障がいの程度によりしますので確認が必要です。目安としては介護認定を受けていれば可能と思われます。

高まる訪問歯科診療のニーズ

実際の訪問歯科診療はほとんどが高齢者です。治療内容は義歯の調整、作製、歯の除石や清掃、虫歯や歯周病の治療、抜歯等です。

歯科医院内での施術とは違っていつもすべての器材を持ち歩けませんので、計画を立ててその都度必要な道具を持っていき治療を行います。また、大掛かりな治療や回数が掛かる治療もあり行いません。これは患者さんの体力やストレスを考慮しなければ

ならないためです。出来るだけ簡単に処置ができる方法を提案して、本人や家族または施設の職員の方と相談しながら治療していきます。



▲歯科治療を要する高齢者の急増

ときどき、患者さんの家族から義歯を作ってほしいと依頼があり、伺ってみると患者さん本人は要らないと思っている場合があります。こういう場合は義歯を作製しても大概使用していただけないです。義歯はどうしても異物感があるので、無い状態に慣れてしまっていると義歯を入れているだけで嫌になってしまうようです。ですからやはり本人と周りによく相談することが大切です。

このように、一般の方（健常者）を治療する場合と少し治療内容が異なることがあります。患者さんの要望がどうなのかを考慮して治療を進めていくことになります。

家族に対象になる方がいましたら諦めずに訪問診療を考えてみてはいかがでしょうか？まずはかかりつけの歯科医師、または担当のケアマネージャーさんに相談してみてください。